

企画演題

第1日目 8月18日 (土)

大会長講演 13:40~14:05 (第1会場 ホール)

PL1 Drug Safetyの新時代を開くー症例報告からビッグデータまでー

座長: 小茂田 昌代 (東京理科大学薬学部 医療安全学研究室)

演者: 高柳 和伸 (倉敷中央病院 薬剤部)

理事長講演 14:10~14:35 (第1会場 ホール)

PL2 偽薬剤アレルギーから見える医薬品副作用の発症機序の新分類の提案

座長: 高柳 和伸 (倉敷中央病院 薬剤部)

演者: 宇野 勝次 (千葉科学大学薬学部/アインファーマシーズ)

教育講演1 14:40~15:35 (第1会場 ホール)

EL1 添付文書改訂の実際ーPMDAからのメッセージー

どのように改訂され、現場でどのように利用できるのか?

座長: 杉山 哲大 (津山中央病院 薬剤部)

演者: 近藤 恵美子 (独立行政法人医薬品医療機器総合機構)

特別/教育講演 15:40~16:40 (第1会場 ホール)

SL1 ビッグデータから見る医薬品安全性:現状と展望

座長: 高柳 和伸 (倉敷中央病院 薬剤部)

演者: 中山 健夫 (京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻健康情報学分野)

第1日目 8月18日 (土)

シンポジウム1 10:10~12:10 (第1会場 ホール)

防げ！薬剤性腎障害 (DKI:drug induced kidney injury) ～薬剤師の実践行動計画～

オーガナイザー：平田 純生 (熊本大学薬学部附属育薬フロンティアセンター・臨床薬理学分野)
古久保 拓 (医療法人仁真会 白鷺病院 薬剤科)
座長：和泉 智 (医療法人仁真会 白鷺病院 医療技術部)
小林 道也 (北海道医療大学薬学部 薬剤学講座 臨床薬剤学)

S1-1 Over view: DKIはなぜ起こりやすい？

平田 純生 (熊本大学薬学部附属育薬フロンティアセンター・臨床薬理学分野)

S1-2 AKI/CKDにおいてDKIを疑う！

古久保 拓 (医療法人仁真会 白鷺病院 薬剤科)

S1-3 心臓と腎臓を守れ！～心腎症候群におけるDKIの罪過～

田中 雅幸 (関西医科大学附属病院)

S1-4 DKIで最も危険な腎毒性薬物を使う時のポイント

浦田 元樹 (社会医療法人寿楽会 大野記念病院 薬剤部)

S1-5 地域ぐるみでDKIを防ぐ！

近藤 悠希 (熊本大学大学院生命科学分野 薬剤情報分析学分野)

シンポジウム2 13:40~15:40 (第2会場 アイシアター)

医療機関と保険薬局の連携が支えるがん薬物療法の安全性の向上とその先に見えるもの

オーガナイザー兼座長：松井 礼子 (国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 薬剤部)
座長：下川 友香理 (総合メディカル株式会社 そうごう薬局 天神中央店)

S2-1 薬剤師がともに支えるがん薬物療法 ～連携の深化に向けた取り組み～

日置 三紀 (三重大学医学部附属病院 薬剤部)

S2-2 医薬連携から得た情報を十分活用するために ～保険薬局における取り組み～

本田 雅志 (総合メディカル株式会社 そうごう薬局天神中央店)

S2-3 病院と保険薬局間のプロトコールに基づく経口抗がん薬治療管理の効果を検証する調査 (病院薬剤師より)

松井 礼子 (国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 薬剤部)

S2-4 病院と保険薬局間のプロトコールに基づく経口抗がん薬治療管理の効果を検証する調査 (保険薬局薬剤師より)

村田 勇人 (クオール株式会社 クオール薬局港北店)

第1日目 8月18日 (土)

シンポジウム3 16:45~18:30 (第1会場 ホール)

Real World Dataの利活用に向けて

オーガナイザー兼座長：高柳 和伸 (倉敷中央病院 薬剤部)

オーガナイザー：徳増 裕宣 (倉敷中央病院 臨床研究支援センター)

座長：岸 達生 (独立行政法人医薬品医療機器総合機構 関西支部)

S3-1 Real World Dataへの期待と現状の課題

小宮山 靖 (ファイザー株式会社 薬事統括部 レギュラトリー・ポリシー部)

S3-2 MID-NETが切り開く将来像について

陰山 卓哉 (医薬品医療機器総合機構 医療情報活用部)

S3-3 Real World Dataの利活用に向けて病院に求められていること

徳増 裕宣 (倉敷中央病院 臨床研究支援センター)

ワークショップ1 10:10~12:10 (第4会場 203会議室)

WS1 医薬品有害事例の臨床解析スキルを身に付ける！

オーガナイザー：宇野 勝次 (千葉科学大学薬学部/株式会社アインファーマシーズ)

チューター：小池 由博 (豊浦病院 薬剤科)

八木 元広 (脳神経センター阿賀野病院 薬剤科)

齊藤 幹央 (新潟薬科大学 薬学部)

古川 智康 (新津医療センター病院 薬剤部)

ワークショップ2 16:40~18:40 (第4会場 203会議室)

WS2 AMR (薬剤耐性) 対策のための抗菌薬適正使用支援について考える

オーガナイザー：奥田 敏勝 (倉敷中央病院 薬剤部)

田坂 健 (岡山大学病院 薬剤部)

チューター：小池 彩子 (岡山赤十字病院 薬剤部)

奥村 佳史 (心臓病センター榊原病院 薬剤部)

鳥越 史宙 (倉敷中央病院 薬剤部)

佐藤 可奈 (倉敷中央病院 薬剤部)

長永 淳史 (倉敷中央病院 薬剤部)

第1日目 8月18日 (土)

ランチョンセミナー1 12:30~13:30 (第1会場 ホール)

LS1 非小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害剤のこれまでとこれから

座長：千堂 年昭 (岡山大学病院 薬剤部)

演者：堀田 勝幸 (岡山大学病院 新医療研究開発センター)

共催：小野薬品工業株式会社

ランチョンセミナー2 12:30~13:30 (第2会場 アイシアター)

**LS2 薬物治療マネジメントにおける薬剤師の役割
～HIV陽性者の服薬支援の実際から薬剤師のあるべき姿を考える～**

座長：高柳 和伸 (倉敷中央病院 薬剤部)

演者：矢倉 裕輝 (大阪医療センター 薬剤部)

共催：鳥居薬品株式会社

ランチョンセミナー3 12:30~13:30 (第3会場 202会議室)

LS3 心不全治療 –地域連携と最近の話題–

座長：森 英樹 (岡山赤十字病院 薬剤部)

演者：多田 毅 (倉敷中央病院 循環器内科)

共催：ニプロ株式会社

スイーツセミナー 16:45~17:45 (第2会場 アイシアター)

SS1 ポリファーマシー対応における薬剤師の役割

座長：森 英樹 (岡山赤十字病院 薬剤部)

演者：平井 みどり (兵庫県赤十字血液センター)

共催：東和薬品株式会社

第2日目 8月19日（日）

教育講演2 11：10～12：10（第1会場 ホール）

EL2 医薬品安全における薬剤師の役割 ～チーム医療における立ち位置を変える～

座長：高橋 正志（マスカット薬局／岡山県薬剤師会）

演者：狭間 研至（ファルメディコ株式会社）

共催：日本ケミファ株式会社

教育講演3 13：45～14：45（第2会場 アイシアター）

EL3 精神科領域における薬物治療の安全性

座長：佐藤 光利（明治薬科大学薬学教育研究センター 医薬品安全性学研究室）

演者：鈴木 映二（東北医科薬科大学医学部精神科学教室）

教育講演4 13：45～14：45（第3会場 202会議室）

EL4 臨床現場へのエビデンスの活用：診療の質向上のために

座長：前田 頼伸（独立行政法人労働者健康安全機構 中国労災病院 薬剤部）

演者：福岡 敏雄（倉敷中央病院総合診療科／救命救急センター／人材開発センター）

共催：第一三共株式会社

第2日目 8月19日(日)

シンポジウム4 9:30~11:00 (第1会場 ホール)

地域連携を通じた医薬品の安全性確保

～高齢化社会を迎え、ポリファーマシーとどう向き合うか?～

オーガナイザー兼座長：高柳 和伸 (倉敷中央病院 薬剤部)

座長：石元 秀和 (岡山県薬剤師会倉敷支部/トマト薬局)

共催：倉敷薬業連携の会

- S4-1 かかりつけ薬剤師から見たポリファーマシーの現状 ～薬が減った、笑顔が増えた♪～
三宅 茉莉子 (総合メディカル株式会社 そうごう薬局中庄店)
- S4-2 こんな処方誰がした！あなたが行った調剤の行く末
[救急医からみたポリファーマシーの弊害]
越後谷 良介 (倉敷中央病院 救急科)
- S4-3 残薬整理を契機とした薬剤適正化の試み
松村 隆司 (庄薬局)
- S4-4 当院でのポリファーマシーへの取り組み
吉光 陽 (倉敷中央病院 薬剤部)
-

シンポジウム5 9:30~10:50 (第2会場 アイシアター)

『医薬品副作用アセスメント』からDSD, DSSP, CDSISに向けて

オーガナイザー兼座長：宇野 勝次 (千葉科学大学薬学部/株式会社アインファーマシーズ)

座長：佐藤 光利 (明治薬科大学薬学教育研究センター 医薬品安全性学研究室)

- S5-1 医薬品副作用アセスメントから医薬品の安全性確保へ
宇野 勝次 (千葉科学大学薬学部/株式会社アインファーマシーズ)
- S5-2 神経障害および精神のアセスメント
三輪 高市 (鈴鹿医療科学大学 薬学部)
- S5-3 循環器障害アセスメント
佐藤 光利 (明治薬科大学薬学教育研究センター 医薬品安全性学研究室)
- S5-4 皮膚障害アセスメント
蒲原 毅 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 皮膚科)
-

第2日目 8月19日（日）

シンポジウム6 11:00~12:10 (第2会場 アイシアター)

日本医薬品安全性学会認定研究会の取り組み

オーガナイザー兼座長：前田 頼伸 (中国労災病院 薬剤部)

富岡 謙二 (吉備高原医療リハビリテーションセンター 薬剤部)

- S6-1 広島県医薬品安全性研究会の取り組み
前田 頼伸 (中国労災病院 薬剤部)
 - S6-2 岡山副作用研究会の取り組みについて
富岡 謙二 (吉備高原医療リハビリテーションセンター 薬剤部)
 - S6-3 新潟医薬品安全性研究会：その歴史と取り組み
外山 聡 (新潟大学医歯学総合病院 薬剤部)
 - S6-4 日本医薬品安全性学会認定研究会としての福岡薬物治療研究会の活動
大澤 友二 (ひまわり薬局)
-

シンポジウム7 11:00~12:10 (第3会場 202会議室)

医薬安全性情報を通じた企業と医療機関の連携体制のすすめ

～医薬品安全性情報スペシャリスト：すべては患者さんのために～

オーガナイザー兼座長：大箸 義章 (中外製薬株式会社 医薬安全性本部)

座長：宇野 勝次 (千葉科学大学薬学部／株式会社アインファーマシーズ)

- S7-1 CDSIS 認定制度開設の経緯と意義について
宇野 勝次 (千葉科学大学薬学部／株式会社アインファーマシーズ)
 - S7-2 医薬品の適正使用・安全管理のために～情報はチームで共有～
西原 雅美 (大阪医科大学附属病院 薬剤部)
 - S7-3 保険薬局での副作用モニター活動における製薬企業からの医薬品安全性情報の利活用と期待
廣田 憲威 (一般社団法人大阪ファルマプラン)
 - S7-4 患者さんに向けた安全確保のための製薬企業の取り組み～チーム医療への貢献のために～
大箸 義章 (中外製薬株式会社 医薬安全性本部)
-

第2日目 8月19日（日）

シンポジウム8 13：45～15：05（第1会場 ホール）

多職種が連携した薬の問題解決に向けた臨床研究

オーガナイザー兼座長：小茂田 昌代（東京理科大学総合研究院

トランスレーショナルリサーチセンター）

座長：川崎 敏克（国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 薬剤部）

S8-1 臨床研究と生物統計家

山本 紘司（大阪市立大学大学院医学研究科）

S8-2 多職種が連携した薬の問題解決に向けた臨床研究～抗がん剤の皮膚障害対策を例に～

佐藤 淳也（静岡県立静岡がんセンター 薬剤部）

S8-3 多職種連携によるポリファーマシー解決に向けた臨床研究の展開

西田 承平（岐阜大学医学部附属病院 薬剤部）

S8-4 アタマジラミ・疥癬治療薬整備に向けた臨床研究

小茂田 昌代（東京理科大学総合研究院トランスレーショナルリサーチセンター）

ワークショップ3 9：30～11：30（第4会場 203会議室）

WS3 重篤副作用にいち早く気づくための実践演習

～こんな時、薬剤師としてあなたはどのようにする？～

オーガナイザー：小茂田 昌代（東京理科大学 薬学部）

尾関 理恵（東京理科大学 薬学部）

ファシリテーター：木村 聡子（国保小見川総合病院 薬剤科）

古野 喬志（大崎病院東京ハートセンター 薬剤部）

杉山 奈津子（国際医療福祉大学 薬学部）

岸 達生（医薬品医療機器総合機構 関西支部）

頓宮 美樹（公益財団法人結核予防会 新山手病院 薬剤科）

鈴木 立紀（東京理科大学 薬学部）

第2日目 8月19日（日）

モーニングセミナー 9：00～9：30（第3会場 202会議室）

MS1 化学療法を安全に行うためには

座長：富岡 謙二（吉備高原医療リハビリテーションセンター）

演者：妹尾 啓司（広島市立広島市民病院 薬剤部）

共催：沢井製薬株式会社

ランチョンセミナー4 12：30～13：30（第1会場 ホール）

LS4 Patient centric safetyの扉を開く

座長：宇野 勝次（千葉科学大学薬学部／株式会社アインファーマシーズ）

演者：大箸 義章（中外製薬株式会社 医薬安全性本部）

共催：中外製薬株式会社

ランチョンセミナー5 12：30～13：30（第2会場 アイシアター）

LS5 GLP-1受容体作動薬の底力！

～臨床薬理学として今インクレチンに求められるもの～

座長：松岡 孝（倉敷中央病院 糖尿病内科）

演者：肥田 和之（岡山医療センター 糖尿病・代謝内科）

共催：ノボノルディスクファーマ株式会社

ランチョンセミナー6 12：30～13：30（第3会場 202会議室）

LS6 IBDの診断と治療（栄養療法も含めて）

座長：筒井 由佳（近森病院）

演者：平岡 佐規子（岡山大学病院 消化器内科／炎症性腸疾患センター）

共催：EAファーマ株式会社
